



Inclusive support

地域包括支援センター

行方市地域包括支援センター

☎0299-55-0114

いつまでも健やかに住み慣れた地域で生活していけるよう、高齢者やご家族の皆さんを、医療・保険・介護および福祉など、さまざまな方面から総合的に支援します。

入浴するのが大変になってきたらどうしますか？

～入浴に関する福祉用具について～

入浴は皆さんにとって、日常的に行っている動作の一つかと思います。また、お風呂は清潔を保ったり、体を温めたり、癒やしたりもしてくれますね。その一方で、入浴は転倒や溺れる可能性があり、介助が必要になりやすい日常生活動作でもあります。

そこで今回は、入浴が大変になってきた場合に役立つ福祉用具をいくつか紹介します。

入浴用いす(シャワーチェア)

洗う姿勢を安定させ、立ち座りも楽にできます。



入浴台(移乗台)、バスボード

浴槽のまたぎ動作が大変な場合に、この台に腰掛けて行なう事で楽にお風呂に入れます。



移乗台

浴槽手すり

立った状態で浴槽をまたぐ際や浴槽から立つのを楽にできます。



バスボード

浴槽いす

浴槽の中に入れる椅子です。浴槽内の立ち座りやまたぎ動作の補助になります。



すのこ

床を底上げできるので、脱衣所と浴室の段差解消やまたぎ動作を楽にします。



地域包括支援センターでは、専門職派遣事業（作業療法士、理学療法士）を行っています。日常の動作や生活について、お困りの事や気になる事がございましたら、お気軽にご相談ください。